

わかかくさ

学校教育目標 『心身ともに健康で、人間性豊かな子どもの育成』

また、緊急事態宣言(継続)下となりました

校長 佐藤 一

日頃より、新型コロナウイルス感染防止対策についてご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。新型コロナウイルス感染状況を鑑み、9/12までであった緊急事態宣言が9月30日まで延長されることとなりました。

千葉市公立学校としましても、先週の金曜日に「すぐーる」と「連絡帳」でお知らせしましたように、夏休み明けの取組を継続してまいります。(『授業時間40分、全学年5時間で下校』等)

新規感染者数は減少していますが、死者、重症者、自宅待機者の増加は止まらず、夏休みが明けて2週間ということもあり、子供たちへの感染拡大もさらに心配されるところです。

夏休み中に、ある小児科ドクターの話を聞きました。内容としては、「子供は無症状のことが多く、本人が感染していてもそれに気付かず、感染を広げてしまう」といったことでした。

私としては(また言葉は悪くなってしまいますが…)、感染している人はどこにでもいて、自分の免疫力と周りの感染対策の徹底において防いでいくしかないと感じています。前回の“学校だより”でも書かせていただきましたが、あと2～3年は現在のような状況はなくなると言っている専門家もいます。私も少なくともあと1年、2年ぐらいは、このような状況が続くものと考えています。最近よく耳にする言葉ですが、「0(ゼロ)コロナではなく、with(ウイズ)コロナ」で、コロナのことを真剣に考え、しっかりと直視し、臆病になり過ぎず、次年度以降のことも考え、十分な感染対策をして、いろいろな方策を検討し、行っていきます。

来週、オンライン授業についての「学校だより」を出させていただきます!

<健康チェック表 毎日真剣にチェックして、持たせてください!>

感染拡大予防対策の基本の基本が、日々の<健康チェック表>となります。

確かに、この状況に慣れてしまった、「コロナ疲れ」などがニュースでも頻繁に聞かれますが、「自分の命は自分が守る」、子供はまだ自分自身だけで行うことが難しいので、保護者がいます。お子さんの日々の健康チェックをゆるめずに、しっかりとお願いします。

先週月曜日に「すぐーる」で連絡をさせていただきましたが、チェック表自体を忘れる子、自分で書いてくる子、鉛筆で書いてある表、そういった場合には職員室や保健室で体温測定や聞き取りをしてから、教室に入るということを原則としています。

万が一、校内で感染者が出た場合には、健康チェック表を基に数日前から健康の様子を確認し、保健所への提出書類を作成していきます。濃厚接触者の判定に関しても、健康チェック表が大きなカギとなります。

「コロナが心配なので休ませます」という家庭がありますが、欠席中も健康チェック表はつけてほしいと思います。

何よりも、お子さんを守るために、よろしくお願いします。












<マスクは周りの人のため、ワクチンは自分のため>

教育委員会から、マスクについての資料が届いていましたのでお知らせします。

様々な報道があり、いろいろなお考えがあることも重々承知していますが、総合的に私は次のように考えます。ワクチンは変異株の影響で感染予防は6割程度と言われています。しかし、重症化予防に対しては9割以上の力を持つそうです。インフルエンザワクチンが感染予防6割、重症化予防7～8割と言われる中、かなりの効き目があるようです。少しでも早く、希望者全員が受けられるようになって欲しいと思います。

表題に書きましたが、<マスクは周りの人のため、ワクチンは自分のため>と考えます。しかし大きくとらえれば、病気にならないということは自分自身のことだけではなく、家族や周りの人たちの安心、安全に直結していると思います。感染予防、子供たちと一緒に頑張ります！！

【マスクやフェイスシールドの効果】(スーパーコンピューター「富岳」によるシミュレーション結果)

対策方法	マスク			フェイスシールド	マウスシールド	なし
						
	不織布 	布 	ウレタン 			
	効果が高い ←			→ 効果が低い		
	吐き出し飛沫量					
	20%	18~34%	50%*	80%	90%*	100%
	吸い込み飛沫量					
	30%	55~65%*	60~70%*	小さな飛沫に対しては効果なし (エアロゾルは防げない)		100%

※ 豊橋技術科学大学による実験値

<クラブ活動の延期について>

4～6年生の児童にクラブ活動があります。山王小では2年前から、それまで年間5回、1～2か月おきに行っていたクラブ活動をできるだけ続けて行うよう日程を組み、年3回としました。これは子供たちの意識を集中・継続させたいということと、行事削減の面から変更をしました。

今年のクラブ活動の予定は、9/2・/16・/30（いずれも木曜日の6時間目）でしたが、コロナの緊急事態宣言発令中であり、全校が5時間下校ですので、11/15（月）、/25・12/2（木）に延期とします。

<昼休みの時間の変更について>

市内の学校では、時差をつけての登下校や授業も行っているところもあります。また、休み時間を無くして、更に早帰りさせているところも…。確かに学校にいる時間が短ければそれだけリスクは減るという考えもありますが、山王小では児童の集中（授業と遊んでいるクラスが混在すると落ち着かない。）と下校時間を早めない（緊急事態宣言中は市一斉の5時間だが、放課後のフリーの時間を増やさない。）という考えで行っています。

業間休みは時間の関係で変更はできませんが、昼休みは少しでも外で体を動かしてほしいということから密避けるため「休みと掃除の時間を上・下学年の交代制」で、昨日から行っています。